

# 受講者には分析研究分科会編集「ゴム分析 Q&A2019」を進呈！！

第 261 回ゴム技術シンポジウム

## ゴム分析の基礎と最新応用技術

主 催：一般社団法人日本ゴム協会研究部会 分析研究分科会

協 賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本機械学会、

(予定) 日本合成樹脂技術協会、日本材料学会、日本接着学会、日本複合材料学会、日本分析化学会、  
プラスチック成形加工学会、日本画像学会、マテリアルライフ学会、日本トライボロジー学会、  
日本レオロジー学会 (順不同)

ゴムの分析に関して基礎から最新応用技術までを解説する講演会です。ゴム材料は架橋されており、多種の物質からなる混合物であるため、その分析のためにはゴム材料特有の攻め方が必要となります。あらゆるゴム分析において重要になる基礎的内容から、従来の方法では解析できなかったことを明らかにする最新の分析技術や応用分析を学ぶことができます。本シンポジウム受講者には、2018 年までの約 20 年におよぶゴム技術シンポジウムでの質問事項と回答内容をまとめた最新版 Q&A 集「ゴム分析 Q&A2019」を進呈します。この機会をお見逃しなく、奮ってご参加ください。

日 時： 2019 年 11 月 8 日 (金) 10:00~16:40

場 所： 東京電業会館 地下ホール (東京都港区元赤坂 1-7-8 TEL: 03(3403)5181(代))

受講料： 日本ゴム協会会員・協賛団体会員 28,600 円 日本ゴム協会学生会員 5,500 円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属が法人としてゴム協会員 (賛助会員) の場合は 2 名様まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 14,300 円 (60 歳以上の正会員) 会員外 37,400 円

受講料には消費税、テキスト・Q&A 集代を含みます。

申込方法： 弊会ホームページ (<http://www.srij.or.jp/>) よりお申し込みください (定員 90 名)。

送金方法： 銀行振込 (三井住友銀行 日比谷支店 普通 7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。振り込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

問 合 先： 一般社団法人日本ゴム協会 第 261 回ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル 1 階

TEL: 03(3401)2957 FAX: 03(3401)4143 E-mail: [kenkyuubukai@srij.or.jp](mailto:kenkyuubukai@srij.or.jp))

演 題	講 師
10:00~10:10 開会のあいさつ	分析研究分科会主査 星 埜 由典
10:10~11:40 ゴムの機器分析入門 ゴムの初心者を対象に、目的に応じた汎用分析機の使い方を紹介する。	【座長】住友ゴム工業(株) 北浦 健大 キヤノン(株) 加藤 久雄 氏
12:40~13:50 ゴム材料における添加剤分析技術の紹介 超臨界流体抽出法によるゴム材料中の添加剤抽出技術を LC/QToF を用いたその同定法について紹介する。また、同システムを用いた表面分析技術についても解説する。	【座長】NOK(株) 青柳 裕一 日本ウォーターズ(株) 江崎 達哉 氏
14:00~15:10 光誘起共鳴 (PTIR) 検出法によるナノスケール赤外分光分析法 ナノスケール空間分解能赤外分光分析を可能にする PTIR 検出法 (光プローブ法とカンチレバー法) と応用について解説する。	(株)日本サーマル・コンサルティング 浦山 憲雄 氏
15:20~16:30 ゴムの加硫構造と劣化構造の解析 ゴムの加硫及び劣化で生じる構造変化を NMR 法、XPS 法、FTIR 法などの分析手法で解析した事例を解説する。	(一財)化学物質評価研究機構 齊藤 貴之 氏
16:30~16:40 閉会のあいさつ	分析研究分科会副主査 仲山 和海

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/> からお願いします。